

# 近畿中国局フォレスターNEWS



## コ ンテナ苗植栽研修会の開催（奈良県）

奈良森林管理事務所は、12月1日に奈良県主催のコンテナ苗植栽研修会に参加しました。（下市町阿知賀の皆伐跡地で開催。）

当日は、奈良県、大阪府、奈良水源林整備事務所、桜井市、下市町、十津川村、奈良県森林組合連合会、県内の7森林組合、8林業事業者、奈良県山林種苗協同組合、森林所有者として阿知賀区副区長、近畿中国森林管理局等から計74名の参加がありました。

研修会では、近畿中国森林管理局から植栽指導を行ったうえで、参加者によりコンテナ苗400本を現地に植栽しました。

参加者は現地で実際に植栽したことで、普通苗と比較して植栽が容易であることを実感しました。また、コンテナ苗は植栽時期を選ばないことから、伐採と造林の一貫作業システムを行えば、トータルコストの縮減が図れることへの理解が深まりました。

一方で、現地における効率的な苗木運搬方法の検討が必要なことやコンテナ苗の低価格化等の問題提起もされました。

奈良森林管理事務所は、今後も民国を連携した地域林業の活性化に向けた取組を進めます。



## 民 国連携して意見交換会を開催（兵庫県）

兵庫森林管理署は、昨年度に引き続き、兵庫県が独自に実施している森林総合管理土育成事業に協力・連携するための意見交換会を12月15日に開催しました。（県13名、署6名参加）

午前には札楽山国有林（たつの市）で、署が設置したシカ侵入防護柵とAIゲート「かぞえもん」の説明と見学を行いました。

「かぞえもん」の見学では、署の職員がシカ役になって実際にゲートが閉まることを実演する等して説明しました。

午後は署会議室に移動し、兵庫署からシカ侵入防護柵斜め張り試験施工、早生樹センダン植栽試験地の生育状況、一貫（請負）作業システムの実行結果等について説明しました。また、県森林林業技術センターからセンダンに関する資料提供がありました。

意見交換会では、主伐・再造林とセンダンに強い関心が寄せられました。主伐・再造林については、「一貫請負と造林と生産を単独で実施した場合の経費比較」、「収入と支出の対比」等の質問、センダンについては、「シカによる食害状況」、「植栽試験地の自然環境」等の質問がありました。

兵庫署は、今後も兵庫県と連携して、森林・林業振興等に向けた取組を進めていきます。

※ AIゲートかぞえもんとは、人工知能を用いて野生動物を一度に多頭捕獲する装置で、林内に設置されたわなをセンサーが自動で監視します。



AIゲートかぞえもん



署会議室・意見交換会

林野庁  
近畿中国森林管理局  
技術普及課



TEL: 06-6881-3524 FAX: 06-6881-2055  
URL: <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>  
〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8-75

## 編集後記

森林管理局では林業のトータルコスト縮減を図るために、コンテナ苗を用いた伐採と造林の一貫作業システムの実行による造林コストの低減やシカ被害対策の高度化と対策コストの低減に向けた取組等を行っています。

今号は、これらに関するものを記事にしました。

さて、毎号のことですが、国有林はもとより民有林担当者の方からも情報提供をいただき、情報共有に努めたいと思いますので、よろしくお願ひします。